

「令和6年度新潟市J-クレジット普及推進協議会 第1回総会」を開催します
国のJ-クレジット制度を活用し、農業分野における温室効果ガス削減にチャレンジ！
水田から創出したクレジットでカーボン・オフセットを推進

新潟市では、水田から排出される温室効果ガス（メタンガス）削減を目的とした「新潟市みどりの農業推進プロジェクト」を立ち上げ、新潟市J-クレジット普及推進協議会（令和6年3月設立の官民連携協議会）が中心となり、国のJ-クレジット制度を活用した脱炭素の取り組みを進めています。

令和6年11月には、農業分野で自治体が運営管理を担う全国初のプロジェクトとして、国から登録を受けたほか、令和7年度には「水稲栽培における中干し期間の延長」に着手し、水田からのメタンガス削減やJ-クレジット創出を目指す計画です。

つきましては、下記により第1回総会を開催いたしますので、皆様におかれましては取材・報道にご協力いただきますようお願いいたします。



※水稲栽培における中干し（なかぼし）とは

- ・水田の水を落とし土壌を乾かす作業のことで、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などに効果があります。
- ・国の試験研究では、中干し期間を直近2か年以上の実施日数の平均より、7日間以上延長することで、土壌中のメタン生成菌の働きを抑制し、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を3割削減する効果が実証されています。

■日時：令和7年3月24日（月） 10：00～11：30

■会場：白山会館 2階 大平明浄の間（新潟市中央区一番堀通町1-1）

■内容：令和6年度事業実績、令和6年度収支決算及び監査報告について
令和7年度事業計画（案）、令和7年度収支予算（案）について

※総会は報道公開とし、閉会后に市農林水産部長（協議会会長）のぶらさがり取材を行います

■出席予定者

- ・市内農業生産法人9社
- ・新潟市農業協同組合、新潟かがやき農業協同組合
- ・（株）第四北越銀行、第四北越リサーチ&コンサルティング（株）
- ・（公財）食の新潟国際賞財団
- ・新潟市（農林水産部長）ほか

■取材申し込み

取材を希望される方は、別紙の申込書に記入の上、3月14日（金）正午までにFAXでお申込みください。



【問い合わせ先】

新潟市農林水産部 農業活性化研究センター 担当：小出、高橋（良）

電話：025-362-0151（直通） FAX：025-362-0153

別 紙

令和6年度新潟市J-クレジット普及推進協議会 第1回総会の取材申し込み

取材を希望される方は、以下にご記入のうえ、3月14日（金）正午までにFAXにてお申込みください。

(送信先) FAX番号: 025-362-0153 農業活性化研究センター 宛

貴社名		所属	
役職/氏名			
同行人数	人	カメラ有無	スチールカメラ 台 ムービーカメラ 台
TEL 番号 (中止時の連絡用)		FAX 番号	

(お問い合わせ) 新潟市農林水産部農業活性化研究センター TEL: 025-362-0151